

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

知的障がい者通勤寮 レジデンスなごそ
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 78-1336 ㊟(0246) 65-4160

ケアホーム・グループホーム
メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりぎり、コーポおかおな

指定相談事業・地域生活相談室せんとらる
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 65-5222

知的障がい者更生施設ふじみ更生園
ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

虹のかけはし
〒974-8261 福島県いわき市植田町中央3-1-7
植田ビル2F
☎(0246) 77-2885 ㊟(0246) 77-2886

ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町11-10
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

手打ちうどん 天真庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎(0246) 77-2033

ヘルパーステーションあくていぶ
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 65-5700 ㊟(0246) 65-4160

児童デイサービスチャーむ・日中一時支援事業ウイズ
〒971-8166 福島県いわき市小名浜愛宕上13-23
☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034

東日本大震災による 法人内施設・各事業所の被災状況について②

東日本大震災から1ヶ月後の平成23年4月11日17時16分、福島県浜通りを震源とするM7.0、最大震度6弱の余震が起き、大きな被害が出ました。翌12日14時7分にも浜通りを震源とする最大震度6弱の余震が観測され、福島県いわき市ではこれらの余震により9割近く復旧していたライフラインが再び寸断され、各地で停電、断水にみまわれました。

今回の余震における当法人の各施設・各事業所の被害状況についてご報告致します。

<小規模多機能型就労継続支援B型 虹のかけはし>

自宅待機を余儀なくされていた利用者が4月より出勤を再開し、虹のかけはしは利用者の笑顔で溢れ、賑やかな時間が戻ってきました。作業時間の短縮や放射能への不安を懸念して訪問販売が出来ない等といった規制はありましたが、皆に逢える場所が戻ってきた幸せを噛み締めていました。

東日本大震災から1ヶ月が経った4月11日の14時46分には利用者・職員共に黙祷を捧げ、1ヶ月前のあの日を振り返り、これから前へ進もうとしたその日に再び大きな余震に見舞われました。幸い利用者が退勤した後での余震でありましたが、停電・断水と1ヶ月前の振り出しに戻ってしまいました。翌日の利用者の出勤は余震の影響を懸念し、再度自宅待機をするといった判断になりました。

再び大きな余震に見舞われた4月12日は今までの地震に耐え守ってくれた虹のかけはしのビルのガラスは割れ落ち、ビルの外壁や階段には亀裂が入り、作業室内は移動困難な程に物が散乱し、見

る影もなくなりました。地盤沈下が激しく、マンホールから噴出した水が悲惨な現実を物語っていました。地震後直ぐに『利用者は大丈夫だろうか?』との不安が過ぎり、電話連絡を行い全員の無事を確認する事が出来ました。『利用者がこの日もし出勤していたら…?』と想像すると怖ろしく、自宅待機という判断を下した事が不幸中の幸いでした。この日が虹のかけはしにとって、最大の試練の日となりました。そして、今後の利用者・職員の人生を変えた日となり、これから先決して忘れる事はないでしょう。

翌日に今後の虹のかけはしについての緊急会議を開き、利用者には再び自宅待機を強いる形となりました。虹のかけはしのビルは半壊で使用出来ない状態にあり、移転しなければならない現実と『利用者が一日でも早く出勤出来る場所を作りたい』という気持ちを職員全員が強く持ち、時には歩いて空き店舗を探し回りました。職員間で話し合いを重ね、意見を出し合い行き着く先はやはり『地震のせいで利用者がバラバラになって欲しくない』という想いでした。焦る気持ちが空回りし、